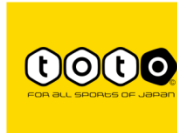


スポーツクリ



平成29年度スポーツ振興事業助成評価



評価の概要

1 助成事業評価の目的

スポーツ振興に関するニーズ等を踏まえて実施した助成事業に対して、**有効性・必要性・継続性の観点から評価し、その結果を助成事業の見直しに活かす**ことで、限られた助成財源を有効に配分し、**より効果的な助成とする。**

2 評価方法

助成団体から提出された事業効果調査票を集計するとともに、一部事業ではヒアリングを実施し、助成事業細目ごとに評価（具体的な評価方法は次頁以降）

3 調査対象

平成29年度スポーツ振興事業助成団体（約2,200件）

4 調査票回収率

100.0%

評価の方法①

1 有効性の観点（助成目的に対して成果が出ているか）

団体から提出された事業効果調査票を集計し、**アウトカム指標における増加率（対前年度比）**と**増加事業割合（該当助成事業の中で、指標が対前年度比で増加した事業の割合）**のそれぞれについて、**3段階評価（A～C）**する。

- アウトプット指標は、事業の直接的な結果を測る指標であるため、参考値として取り扱う。
- アウトカム指標における増加率は、各指標に対する有効回答の平均値により評価する。
- 対象事業数が少ないといった理由から、上記の評価がなじまない一部の事業については、団体による自由記述や団体からのヒアリング等を踏まえた定性的な評価を行うなど、事業別に基準を設けて評価する。

（「2 必要性の観点」においても同様）

【増加率の評価】

- A評価**：前年度の指標値より、**増加している**。
（増加率が、**110%より大きい**）
- B評価**：前年度の指標値と、**同程度である**。
（増加率が、**90%以上110%以下**）
- C評価**：前年度の指標値より、**減少している**。
（増加率が、**90%未満**）

【増加事業割合の評価】

- A評価**：前年度より増加している事業の割合が
60%より大きい
- B評価**：前年度より増加している事業の割合が
40%以上60%以下
- C評価**：前年度より増加している事業の割合が
40%未満

評価の方法②

2 必要性の観点

(ニーズに合致し、助成金による実施が望ましいか)

交付件数と交付金額のそれぞれについて、
推移を3段階評価 (A~C) する

A評価 : 前年度の指標値より、**増加している**
(前年度比が、**110%より大きい**)

B評価 : 前年度の指標値と、**同程度である**
(前年度比が、**90%以上110%以下**)

C評価 : 前年度の指標値より、**減少している**
(前年度比が、**90%未満**)

3 継続性の観点 (現行制度の継続により、助成の目的が達成できるか)

上記1及び2の各指標における評価を総合し、3段階評価 (A~C) した上で、**総評及び次年度以降の助成事業に対する提言**を行う。

有効性、必要性の観点における3段階評価を得点に換算 (**A評価は3点、B評価は2点、C評価は1点**) し、それぞれの観点における**平均値を算出**する。その**平均値を合計した値を3段階評価**することにより、総合評価を行う。

A評価 : 評価点が**比較的高い** (評価点が、**4.7以上6.0以内**)

B評価 : 評価点が**平均的な値**である (評価点が、**3.3以上4.7未満**)

C評価 : 評価点が**比較的低い** (評価点が、**2.0以上3.3点未満**)

スポーツ振興くじ助成①

事業細目	評価点	総評及び次回への提言
国民体育大会冬季大会 競技会場整備事業	B (4.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 冬季国体が滞りなく開催され、大会終了後も全国規模の競技大会に利用される予定となっており、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 助成団体の申請額に応じて交付しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 冬季国体の安定的な開催と終了後の大会招致等に、より一層の助成の活用が期待される。
クラブハウス整備事業	B (4.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 総合型地域スポーツクラブの活動拠点として一定の利用がなされていることから、助成事業の目的を達成していると考えられる。 ② 助成団体の申請額に応じて交付しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 総合型地域スポーツクラブの活動拠点となる施設の充実のため、より一層の助成の活用が期待される。
グラウンド芝生化事業	B (4.57)	<ul style="list-style-type: none"> ① 全般的にアウトカム指標が増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 地域におけるグラウンドの芝生化の推進に、より一層の助成の活用が期待される。
スポーツ施設等整備 事業	A (5.83)	<ul style="list-style-type: none"> ① 全般的にアウトカム指標が増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額ともに増加しており、助成団体のニーズに合致していると考えられる。 ③ 地域における身近なスポーツ施設の整備に、引き続き助成の活用が期待される。
総合型地域スポーツ クラブ創設・創設支援 事業	B (4.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 全般的にアウトカム指標が増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 全国的に新たに総合型地域スポーツクラブを創設する動きが少なくなってきたと考えられるため、件数は減少傾向にあるものの、1件あたりの助成額は変わりがないことから、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 総合型地域スポーツクラブを創設する動きが少なくなってきたものの、クラブ創設のニーズに引き続き応えるため、助成の活用が期待される。
総合型地域スポーツ クラブ自立支援・クラブ マネジャー設置支援事業	B (3.83)	<ul style="list-style-type: none"> ① 全般的にアウトカム指標が増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額とも大幅に減少しており、助成団体のニーズに合致していない可能性がある。 ③ 自己財源比率の増加など、クラブ運営及び自立支援に、より一層の助成の活用が期待される。ただし、交付件数及び金額が直近3か年度とも減少していることから、その要因を分析し、事業の見直しを検討する必要がある。

スポーツ振興くじ助成②

事業細目	評価点	総評及び次回への提言
総合型地域スポーツクラブ活動基盤強化・クラブマネジャー設置事業	B (4.67)	<p>① 一般的にアウトカム指標が増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。</p> <p>② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。ただし、平成27年度と比べると大幅に減少していることについて留意する必要がある。</p> <p>③ 自己財源比率の増加など、クラブ運営及び自立支援に、より一層の助成の活用が期待される。ただし、交付件数及び金額が平成27年度と比べて大幅に減少していることから、その要因を分析し、事業の見直しを検討する必要がある。</p>
クラブアドバイザー配置事業	B (4.33)	<p>① クラブアドバイザーが指導を行った総合型クラブから概ね肯定的な評価を得ており、助成事業の目的は達成していると考えられる。</p> <p>② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。</p> <p>③ 総合型クラブの未設置市町村への普及・啓発に加え、持続可能なクラブ運営への指導・助言等の実施に、より一層助成の活用が期待される。</p>
スポーツ教室、スポーツ大会等の開催 (地方公共団体)	A (5.25)	<p>① アウトカム指標は一般的に前年度と同水準で推移しており、助成事業の目的は達成していると考えられる。</p> <p>② 交付件数・金額ともに増加しており、助成団体のニーズに合致していると考えられる。</p> <p>③ より一層の参加者数・運営スタッフ数の増加など、地域スポーツ活動への参加促進に、引き続き助成の活用が期待される。</p>
スポーツ指導者の養成・活用 (地方公共団体)	B (3.75)	<p>① アウトカム指標は一般的に前年度と同水準で推移しており、助成事業の目的は達成していると考えられる。</p> <p>② 要望件数は少ないものの、実施された事業では、安定的な指導者養成講習会等の開催及び指導者派遣の実施につながっており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。</p> <p>③ 講習会参加者数・実施回数や指導者の派遣実施回数の増加など、専門的知識を有する指導者の養成・活用の充実に、より一層の助成の活用が期待される。</p>
スポーツ情報の提供 (地方公共団体)	B (4.00)	<p>① 成果物の配布数は減少しているものの、HPアクセス件数は大幅に増加しており、助成事業の目的は達成していると考えられる。</p> <p>② 要望件数は少ないものの、実施された事業では、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及や地域の総合型クラブの認知度向上につながっており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。</p> <p>③ 成果物の配布数やHPアクセス件数の増加など、地域住民にとって有益なスポーツ情報の提供に、より一層の助成の活用が期待される。</p>

スポーツ振興くじ助成③

事業細目	評価点	総評及び次回への提言
大型スポーツ用品の設置	A (6.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 大型スポーツ用品を使用した施設の利用者数、イベント数共に増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額ともに年々増加しており、助成団体のニーズに合致していると考えられる。 ③ 公共スポーツ施設のスポーツ実施環境の充実に、引き続き助成が活用されることが期待される。
国民体育大会冬季大会の競技会開催支援事業	A (5.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 大会の開催により、開催地でのスポーツ振興への機運が高まったこと、また、次世代の選手育成につながる大会になったことから、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 助成団体の申請額に応じて交付しており、助成団体のニーズに合致していると考えられる。 ③ アスリートの発掘・育成等に資する大会として、国民体育大会冬季大会が円滑に開催されるよう、引き続き助成の活用が期待される。
タレント発掘・一貫指導育成事業	A (4.75)	<ul style="list-style-type: none"> ① 延べ参加者数・活動日数・各年代の代表レベル選手輩出数が増加しており、助成事業の効果が認められる。 ② 交付件数が若干減少しているが、申請のあった年度ベースでは前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 延べ参加者数や活動日数の増加など、将来性を有する競技者の発掘に、引き続きの助成の活用が期待される。
身体・運動能力特性に基づくタレント発掘事業	A (5.25)	<ul style="list-style-type: none"> ① アウトカム指標は全般的に前年度と同水準で推移しており、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 交付件数・金額ともに増加しており、助成団体のニーズに合致していると考えられる。 ③ より一層の参加者の増加など、地域における優れた素質を有する競技者の発掘に、引き続き助成の活用が期待される。
スポーツ教室、スポーツ大会等の開催 (スポーツ団体)	A (4.75)	<ul style="list-style-type: none"> ① 一定数の参加者数・運営スタッフ数が確保されており、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 参加者数・運営スタッフ数の増加など、スポーツ活動への参加促進や競技水準の向上に、引き続き助成の活用が期待される。
スポーツ指導者の養成・活用 (スポーツ団体)	B (3.83)	<ul style="list-style-type: none"> ① アウトカム指標は全般的に前年度と同水準で推移しており、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 講習会参加者数・実施回数や指導者の派遣実施回数の増加など、専門的知識を有する指導者の養成・活用の充実に、より一層の助成の活用が期待される。

スポーツ振興くじ助成④

事業細目	評価点	総評及び次回への提言
スポーツ情報の提供 (スポーツ団体)	A (4.75)	① 成果物の配布数は微減したもののHPアクセス件数は増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ より一層の成果物の配布数・HPアクセス数の増加など、収集したスポーツ情報が広く一般に提供され、スポーツ活動への参加促進や競技水準の向上に、引き続き助成の活用が期待される。
マイクロバスの設置	B (4.50)	① 延べ活動参加者数が増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数がわずかに減少しているものの、全般的に前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 活動参加者の増加など、スポーツ活動に参加する者の利便性の向上に、より一層助成の活用が期待される。
ドーピング検査事業	B (4.00)	① 一定数のドーピング検査が行われており、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ ドーピング検査の推進に、より一層の助成の活用が期待される。
ドーピング防止情報提供事業	A (5.00)	① 成果物の配布数・HPアクセス件数が増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ より一層の成果物の配布数・HPアクセス件数の増加など、各種国際会議等で得られた情報の共有に、引き続き助成の活用が期待される。
ドーピング防止啓発活動推進事業	A (6.00)	① 参加延べ人数・啓発活動の実施回数が増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額ともに増加しており、助成団体のニーズに合致していると考えられる。 ③ より一層の啓発活動実施回数・参加延べ人数の増加など、団体が自ら策定するドーピング防止計画に基づき傘下の関係者に対して行う研修会等に、引き続き助成の活用が期待される。
ドーピング分析機器等整備事業	B (4.00)	① 研究成果について、一定の成果が認められることから、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 成団体の申請額に応じて交付しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 研究のさらなる充実など、ドーピング検査分析を行う環境の整備に、より一層の助成の活用が期待される。
スポーツ仲裁等事業	B (4.00)	① 一定件数の仲裁・調停等が行われており、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 助成団体の申請額に応じて交付しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ スポーツに関する紛争の解決に、より一層の助成の活用が期待される。

スポーツ振興くじ助成⑤

事業細目	評価点	総評及び次回への提言
若手スポーツ指導者 長期在外研修	B (4.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① ヒアリングをした結果、参加者が一定の満足感を得られていることから、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 参加人数の増加や内容の充実など、将来における我が国のスポーツ界を担う人材の育成に、より一層の助成の活用が期待される。
国際交流推進スタッフ 育成事業	B (4.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 参加者数は前年度と同水準であること、参加者の満足度については助成事業者からのヒアリングにより、参加者が一定の満足感を得られていることから、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 参加者数の増加や内容の充実など、諸外国との連携及び交渉等を行うスタッフの育成に、より一層の助成の活用が期待される。
スポーツ団体ガバナンス 強化事業	A (5.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 自発的な取組件数や研修会開催数が増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ より一層の取組件数や研修会開催の増加など、競技団体の統治・統制能力の強化に、引き続き助成の活用が期待される。
国際スポーツ会議開催 事業	B (4.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 各団体へのヒアリングでは総じて計画当初の目的を達成できたとの回答を得ており、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 助成団体の申請額に応じて交付しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 参加国数の増加など、団体が主催する国際会議の円滑な開催に、より一層の助成の活用が期待される。
国際競技大会開催事業	B (4.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 一定の運営スタッフ数・観戦者数が確保されており、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 運営スタッフ数や観戦者数の増加など、国際的な規模の競技会の開催に、より一層の助成の活用が期待される。
国際競技大会開催準備 事業	B (4.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 団体がプロモーション活動や広報物の配布を有効に行っていることから、大会の円滑な開催に資することを確認しており、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 助成団体の申請額に応じて交付しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 広報物配布数等の増加など、本大会の円滑な開催に向け、より一層の助成の活用が期待される。

スポーツ振興くじ助成⑥

事業細目	評価点	総評及び次回への提言
東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催事業	A (5.00)	① アウトカム指標が全般的に増加しており、円滑な大会開催に資する効果的な助成になっていると考えられる。 ② 助成団体の申請額に応じて交付しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ より一層の大会プロモーション活動件数・広報物配布数・メディア等露出数の増加など、本大会の開催に向け、引き続き助成の活用が期待される。
ラグビーワールドカップ2019開催事業	A (5.00)	① アウトカム指標が全般的に増加しており、円滑な大会開催に資する効果的な助成になっていると考えられる。 ② 助成団体の申請額に応じて交付しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ より一層の大会プロモーション活動件数・広報物配布数・メディア等露出数の増加など、本大会の開催に向け、引き続き助成の活用が期待される。
大規模競技場機能補完施設整備事業	B (4.00)	① 大規模競技場の機能補完施設として、スポーツ団体の合宿等に活用されており、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 助成団体の申請額に応じて交付しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 周辺地域を含めたスポーツの拠点として高度化が図られ、我が国のスポーツの振興に資することが期待される。
東京オリンピック・パラリンピック競技大会等競技会場整備事業	B (4.00)	① ラグビーワールドカップに向けて競技会場基準に沿った整備が行われていることから、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 各大会の施設基準等を満たす施設が整備され、大会の円滑な開催とレガシーの継承のため、より一層の助成の活用が期待される。
スポーツによる被災地の子どもたちの心のケア活動等事業	A (5.00)	① 参加した子どもの満足度が高いことから、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 実施クラス・実施日数の増加や内容の充実など、子どもの満足度の向上に、引き続き助成の活用が期待される。

スポーツ振興基金助成 / 競技強化支援事業助成

事業細目	評価点	総評及び次回への提言
スポーツ団体選手強化活動助成	B (4.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 世界選手権又はそれに準ずる国際大会の日本人入賞者数に占める選手強化活動参加者の割合が減少しているものの、選手強化活動が計画的かつ継続的に実施されていることから、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 世界選手権又はそれに準ずる国際大会の日本人入賞者数に占める選手強化活動参加者の割合の増加など、スポーツ団体が計画的かつ継続的に行う選手強化活動に、より一層の助成の活用が期待される。
スポーツ団体大会開催助成（競技力向上）	A (5.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① アウトカム指標が全般的に増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ より一層の観戦者数・団体選定の強化指定選手又はそれに準ずるトップ選手・チームの全参加者に占める割合の増加など、競技力の向上を目的とした競技会、研修会又は講習会の開催に、引き続き助成の活用が期待される。
スポーツ団体大会開催助成（普及）	A (5.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① アウトカム指標が全般的に増加しており、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ より一層の観戦者数・参加者数・登録会員数の増加など、競技の普及を目的とした競技会、研修会又は講習会の開催に、引き続き助成の活用が期待される。
アスリート助成	B (3.50)	<ul style="list-style-type: none"> ① オリンピック/パラリンピック、世界選手権等の国際大会の日本人入賞者数に占める助成金受給者の割合が減少しており、効果的な助成になっていない可能性がある。 ② 交付件数・金額ともに増加しており、助成対象者のニーズに合致していると考えられる。 ③ オリンピック/パラリンピック、世界選手権等の国際大会の日本人入賞者数に占める助成金受給者の増加など、オリンピック競技・パラリンピック競技の競技水準の向上に、より一層の助成の活用が期待される。
選手・指導者研さん活動助成	A (6.00)	<ul style="list-style-type: none"> ① 受給者の満足度が高く、効果的な助成になっていると考えられる。 ② 交付件数・金額ともに増加しており、助成対象者のニーズに合致していると考えられる。 ③ より一層の制度周知等に努め、受給者数を増加させることにより、競技者の競技技術の向上やスポーツキャリア形成に、引き続き助成の活用が期待される。
スポーツ団体トップリーグ運営助成	B (4.29)	<ul style="list-style-type: none"> ① アウトカム指標は全般的に前年度と同水準で推移しており、助成事業の目的は達成していると考えられる。 ② 交付件数・金額が前年度と同水準で推移しており、助成団体のニーズに概ね応えていると考えられる。 ③ 観戦者数やイベント研修会の増加など、トップリーグの安定的な運営に、より一層の助成の活用が期待される。

事業全体の総評

- 各事業の評価点において、C評価はなく（A評価17事業、B評価24事業）、全事業の評価点の平均は4.53点となっており、助成事業の目的は達成している。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、引き続き、国民のスポーツへの関心が高まっていくことが想定されることから、競技力の向上のみならず、地域スポーツの振興に関する助成団体のニーズを踏まえた、効果的な助成の実施が期待される。
- なお、総合型地域スポーツクラブ活動助成については、交付件数・金額が減少傾向にあることから、助成審査委員会第二部会総合型地域スポーツクラブ活動助成ワーキンググループにおいて、その要因を分析し、事業の見直しを検討する必要がある。